



報道関係各位

2023年3月7日

一般社団法人デジタルメディア協会
理事長 襟川 恵子

デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー '22 / 第 28 回 AMD アワード

年間コンテンツ賞「大賞／総務大臣賞」「AMD 理事長賞」が決定

一般社団法人デジタルメディア協会(所在地:東京都中央区、理事長:襟川恵子、以下 AMD)はデジタルメディア業界の発展を目指し、優れたデジタル・コンテンツ等の制作者を表彰する『デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー '22 / 第 28 回 AMD アワード』の授賞式を本日 16 時半より帝国ホテル(東京都千代田区内幸町)で開催し、既報の年間コンテンツ賞「優秀賞」授賞作品 10 タイトルの中から、「大賞／総務大臣賞」及び「AMD 理事長賞」の受賞作品を以下の通り発表致しました。

■大賞／総務大臣賞 The AMD Grand Prize

作品名	受賞者
「FIFA ワールドカップ カタール 2022」 ABEMA 全 64 試合無料生中継	株式会社 AbemaTV
<p><大賞／総務大臣賞選考理由></p> <p>サッカーの新しい視聴体験を幅広い世代に提供し、日本中に大きな感動を作り出したことを賞賛したい。日本史上初となる「FIFA ワールドカップ カタール 2022 全 64 試合無料放送」に挑んだ「ABEMA」は、見逃した試合のフルマッチ映像やハイライト映像を、場所や時間を選ばずに楽しませてくれただけでなく、試合全体の他数台のカメラによる様々な視点でのマルチアングル映像など、新たなサッカーの視聴体験を提供してくれた。さらに本田圭佑をはじめとするユニークな解説も、「ABEMA」ならではの面白さとして人々に受け止められた。日本対スペイン戦が行われた 2022 年 12 月 2 日(金)の「ABEMA」の 1 日の視聴者数は、開局史上最高となる 1700 万を超えた。日本を元気に、そして何よりブラボーにしてくれた、その偉大な挑戦心を称えたい。</p>	

■AMD 理事長賞 The AMD Chairman Award

作品名	受賞者
silent	フジテレビ 木曜劇場「silent」
<p><AMD 理事長賞選考理由></p> <p>今の若者たちのテレビドラマ離れが指摘される中、フジテレビの「silent」は 最高の感動と新しい楽しみ方を生み出した。東京・世田谷代田を舞台に、声がなくとも愛が伝わる設定と演出、事情がわかると前に戻って観たくなる伏線と回収など、今の若者たちの空気感をオリジナルドラマとして見事に描き出した。放送後は twitter の世界トレンドで毎週のように 1 位を獲得し、見逃し配信の再生回数も全 11 話で 6191 万再生と歴代最高を記録した。また、テレビの前にはいない若者に届けるため、「エピソード 0」ドラマやドキュメンタリーといった複数の配信オリジナルコンテンツを作成したり、SNS ではスポーツ中継延長時に本編に入りきらなかった未公開シーンや小道具の投稿をする等、今の生活スタイル合わせたきめ細かな工夫も光った。時代を切り取るセンスと新しいことに挑戦する姿勢を高く評価した。</p>	



デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'22/第28回 AMD アワード
受賞作品一覧および受賞理由

■年間コンテンツ賞「優秀賞」AMD Award

<作品名 50 音順>

	優秀賞	受賞者
1	ウタ	ONE PIECE FILM RED 製作委員会
	ウタは映画『ONE PIECE FILM RED』のヒロイン。映画から飛び出して現実に存在するアーティストとして活躍。登場キャラのウタによるその歌声が響くと、劇中の盛り上がりと同様に2022年を代表するキャラクターとして世間を賑わせた。アニメキャラクターが紅白歌手として初めて出演の快挙を果たし、リアルとアニメのシンクロによる新境地を切り拓いた。	
2	ELDEN RING	株式会社フロム・ソフトウェア 株式会社バンダイナムコエンターテインメント
	これまで数多の名作を世に送り出してきたフロム・ソフトウェア待望の新作は、期待を上回るクオリティーで世界中のゲームファンを虜にした。ジョージ・R・R・マーティン氏とディレクターの宮崎英高氏に構築された世界観を下地にした広大な世界は、未知の発見に溢れ、探索はつねに緊張感を伴い、プレイヤーは試行錯誤を重ねながら夢中になる。また、バンダイナムコエンターテインメントの海外ネットワークも合わさり、日本のみならず世界中のファンに広く遊ばれ、熱狂させた。忘れられない冒険と極上の達成感を味わわせてくれた本作開発チームに敬意を表する。	
3	きつねダンス	株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント
	「きつねダンス」は北海道日本ハムファイターズの「ファイターズガール」によるパフォーマンス。「The Fox」に合わせ、みみカチューシャとしっぽを付けてキツネらしいかわいい振り付けのダンス。22年3月の初公開以来、動画サイトにおいて注目を集め、「踊ってみた動画」が日本はもとより、世界でUPされるブームとなり、日本各地のイベントやほかのスポーツにも波及、22年の国民的人気ダンスとして表彰する。	
4	アニメ「SPY×FAMILY」	遠藤達哉/集英社・SPY×FAMILY 製作委員会
	「少年ジャンプ+」連載時から注目を集め、満を時してのアニメ化となった。アニメーション制作はWIT STUDIOとCloverWorksの2社による共同制作。また、Season 1を通して本作の主題歌をOfficial髭男dism、星野源、BUMP OF CHICKEN、yamaと、豪華アーティスト陣が担当。登場キャラのアーニャとその口調がSNSのトレンドになるなど、様々な年間ランキングを席卷した。	
5	世界陸上オレゴン大会でのXRスタジオ	TBS「世界陸上オレゴン」
	「世界陸上オレゴン大会」においては、TBS テレビがXR技術を駆使した新しい生中継表現を実現し、多くの視聴者に臨場感のあるリモート中継で陸上競技の魅力を伝えた。日本初のLIVE映像とXR技術を組み合わせたテレビ放送中継により、スタジオにいながらこの場所にも瞬時に移動し、そこから生中継しているような時空を超えた新しい映像演出を高く評価。	
6	ファスト映画アップローダーに対する損害賠償請求訴訟の勝訴判決	一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)
	映画の映像を権利者に無断で、10分程度に編集、要約した動画を無断アップロードする「ファスト映画」問題が深刻化する中、会員企業13社からなる原告の窓口としてまとめあげ、ファスト映画を無断アップロードしていた被告に対して損害賠償請求訴訟を提起。5億円の損害賠償判決という司法判断が下る先駆的ケースを作り上げ、著作権の適性な保護、流通に大きな一歩を作り出した功績を評価する。	

	ふにるんず	株式会社タカラトミー
7	デジタルとアナログを融合した新“触感”液晶お世話トイ。おもちゃのテクノロジー活用が進む中、育成ゲームにアナログな“ふにふに”触感を付加することで、デジタルトイながら温かみのある新しい体験を提供し、令和の子供たちを夢中にさせた。それはリアルで触れ合える機会が急減した昨今において癒やしでもあっただろう。	
	VOICEVOX	廣芝 和之
8	AIによる高品質な音声を無料で使える音声合成ソフト。VTuberなど、音声合成の利用が広がる中、品質の高さや、活用範囲の広さ、音声ごとにキャラクターイラストで表現されている世界観などで話題になった。クレジット表記を入れれば無料・無許諾で商用利用できることや、オープンソースで制作されている点は特に注目された。	

■江並直美賞(新人賞) Naomi Enami Award

受賞者	
株式会社 豪勢スタジオ 映像作家 / クリエイティブディレクター 藤井 亮	
<p>2022年7月にNHKで放送されたテレビ番組「TAROMAN 岡本太郎式特撮活劇」。「1972年に制作された特撮作品」という体裁のもと、岡本太郎の作品や言葉など、その世界観を体現した特撮番組がSNSで話題を集め、展覧会や関連イベントが続々開催。コミケやハロウィンではコスプレイヤーも登場するなど、その世界は一気に広まった。本作を制作した藤井亮はこの作品にとどまらず、実写やアニメーションを使い、ユニークな映像作品を作り続けている。</p>	

■リージョナル賞 Regional Achievement Award

作品名	受賞者
30歳になったら静岡県！・ふじのくにパスポート	静岡県／ロントラ株式会社
<p>我が国では、若者の東京圏への流入により、その他地域における人口減少が深刻な課題となっている中、静岡県では、SNS等を有効に活用し、静岡県出身で県外在住の若者のU・Iターン促進及びつながり維持を目指す取組を行っている。高校卒業生全員に地域の魅力を発信するウェブサイトのQRコードを記したカードを配布し、LINE、メルマガ登録を促進し、潜在的なU・Iターン層とのつながりを維持するとともに、各種SNSと連動し、静岡県で暮らし働くことへの興味・関心を促す情報を随時提供するなど故郷が忘れ去られない取組を行っている。このような取組を一過性のものとするのではなく長年続けることにより、中長期的な視点で郷土愛の育成を図っており、既に3万人以上のフォロワーを獲得するなどの成果をあげており、先導的な取組となっている。</p>	

～一般社団法人デジタルメディア協会～

【活動概要】

約 60 社の会員により、コンテンツ分野で活躍するプレーヤーの支援、コンテンツ分野におけるビジネス環境の整備、新たな配信メディアの開拓等、コンテンツビジネスの発展に向けた多様な取組を進めています。AMD は、政府のIT戦略本部や知的財産戦略本部の取組とも歩調を合わせ、より多くの事業者や関係者と共に、一層のデジタルメディア・コンテンツ産業の振興に向けて活動を拡大してまいります。

～デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'22/ 第 28 回 AMD アワード開催概要～

- 名 称: デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'22/第 28 回 AMD アワード
- 主 催: 一般社団法人デジタルメディア協会(略称/AMD)
- 後 援: 総務省
- 協 賛: 株式会社KADOKAWA、株式会社コーエーテクモホールディングス、株式会社スクウェア・エニックス、セイコーグループ株式会社、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、株式会社東北新社、任天堂株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス
- 推薦期間: <年間コンテンツ賞> 2022 年 11 月 10 日(木)～2022 年 12 月 31 日(土)
- 授 賞 式: 日 時/2023 年 3 月 7 日(火) 16:30～
会 場/帝国ホテル「光の間」
- 趣 旨: コンテンツ制作者の立場からデジタルコンテンツ産業の発展のために、デジタルメディアの質的向上ならびに人材育成を目的として、「AMD アワード」を制定致しております。
- 対象作品:<年間コンテンツ賞>
対象期間:2022 年 1 月 1 日より 12 月 31 日
 - ① 対象期間中に、日本国内において発売・発表されたデジタルメディアにて表現されたコンテンツ及びサービス(期間内に国内において普及・注目されたものを含む)
 - ② 対象期間中に、最新のデジタル技術を駆使して国内で制作されたコンテンツ及びサービス(海外展開含む)
- 審査方法: 「年間コンテンツ賞」については、実行委員会の指名する第 28 回 AMD アワードサポーターおよび一般推薦者により、AMD ホームページから推薦された作品を別に組織する審査会《審査員長:夏野 剛(近畿大学 情報学研究所長 特別招聘教授)》にて審議し、各賞を決定しています。
- 賞の内容:<年間コンテンツ賞>
 - 1) 大賞/総務大臣賞
 - ◆Digital Contents of The Year'22 The AMD Grand Prize ～総務大臣賞～
 - 2) AMD 理事長賞
 - 3) 優秀賞
 - ※1)、2)は、「優秀賞」受賞作品の中から選出され、授賞式当日の発表となります。
 - 4) 江並直美賞(新人賞)
対象業績が業界における第一線へのデビューを飾るものであることを前提に業界の発展に寄与したと認められる人物に対し与えられます。
 - 5) リージョナル賞(該当 1 作品の企画団体)
地域に根ざしたデジタルコンテンツやサービスの中で、最も優れた功績を挙げた人物・団体に授与されます。